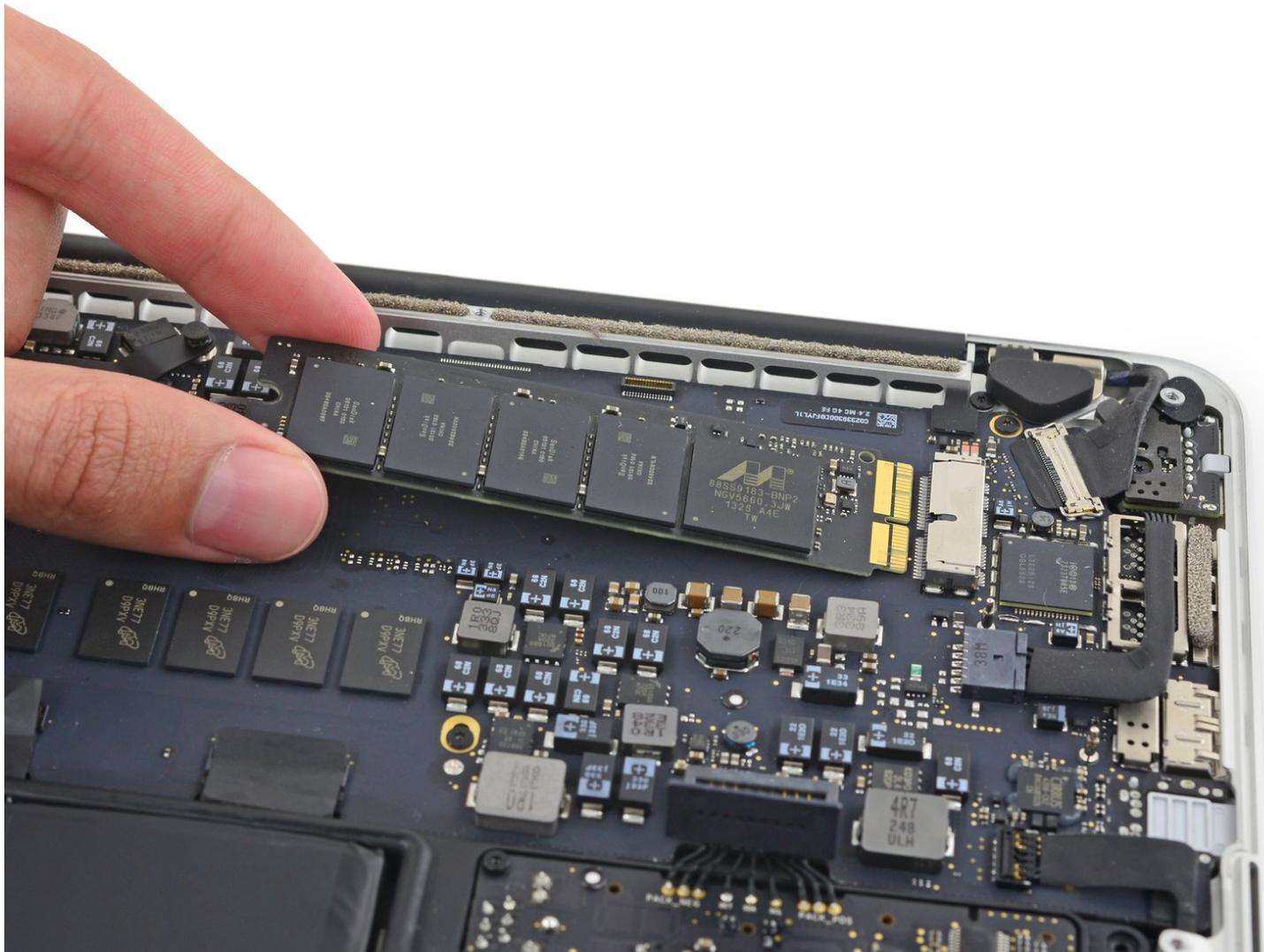




MacBook Pro 13" Retina Display Early 2015 の SSDの交換

MacBook Pro 13" Retina Display Early 2015 のSSDの交換をします。

作成者: Andrew Optimus Goldheart



はじめに

MacBook Pro 13" Retina Display Early 2015 のソリッド状態のドライブ(SSD) を取り出して交換するにはこのガイドをご利用ください。このMacBook Proは、[専売のストレージドライブコネクタ](#)を使用しています。そのため、通常の M.2ドライブとは、アダプターを使用しなければ互換性ありません。

修理を始める前に、できれば[現在使用中SSDのバックアップをしてください](#)。それから [インターネットの回復](#) もしくは [起動可能な外付けハードドライブを作成してください](#)。そうすれば、macOSを新しいドライブにインストールする準備が整い、データを新しいSSDに移行できます。

最後に、MacBook Proに搭載されていたオリジナルのSSDを交換する前に、macOS 10.13 High Sierra (またはそれ以降のmacOS)のインストールを強く推奨します。多くの新SSDには、High Sierraより前のバージョンのmacOSにはない最新のストレージドライバが必要です。

ツール:

- P5 ペンタローブネジ用ドライバー (Retina MacBook Pro/Air用) (1)
- スパッジャー (1)
- T5トルクスドライバー (1)

部品:

- MacBook Pro and MacBook Air (Mid 2013 to Early 2015) SSD Upgrade Bundle (1)
- OWC Aura Pro X2 SSD (1)
- MacBook Pro 13" and 15" Retina (2015) SSD (1)

手順 1 — 底ケース



- 上部ケースと底ケースを留めている次の10本のネジを外します。
 - 2.3 mm P5ペンタローブネジ-2本
 - 3.0 mm P5ペンタローブネジ-8本
- この修理では、[各ネジの装着位置をメモ書きして管理](#)してください。再組み立ての際は、デバイスにダメージを与えないよう、正しい場所に装着してください。

手順 2



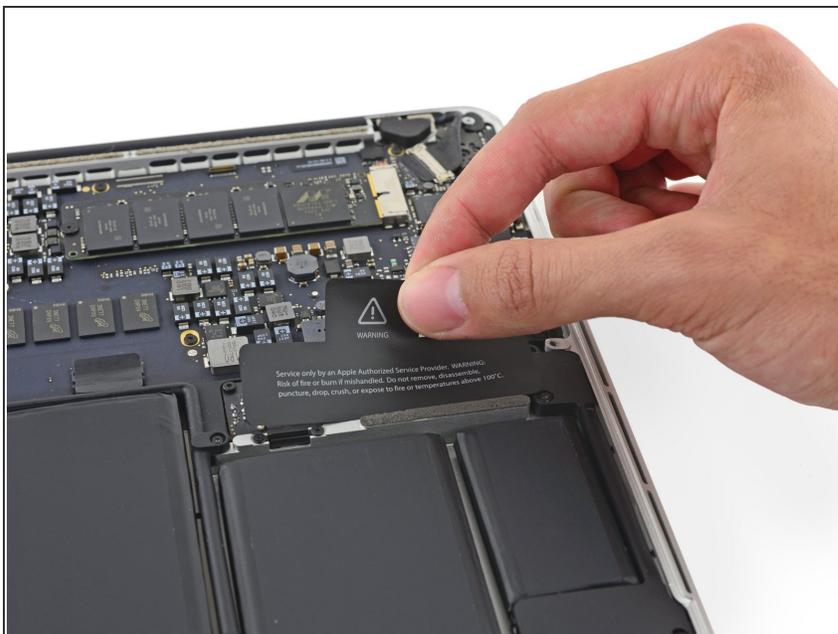
- 上部ケースと底ケースの間に指を差し込みます。
- ゆっくりと底ケースを上部ケースから離していきます。

手順 3



- ❶ 底ケースは上部ケースと2つのプラスチック製クリップで中央付近に接続されています。
- ➡ 再組み立ての際は、丁寧に底ケースの中央を2つのプラスチック製クリップに接続するように押し込んでください。

手順 4 — バッテリーコネクター



- ❶ 必要に応じてバッテリーの接続ボードに留められているプラスチック製カバーを外してください。

手順 5



- スパジヤーの平面側先端を使って、バッテリーコネクタをロジックボード上のソケットからまっすぐ持ち上げます。

! コネクタのみ持ち上げるよう確認しながら作業を進めてください。ソケットには接触しないでください。ロジックボードに永久的なダメージを与えてしまうことがあります。

手順 6



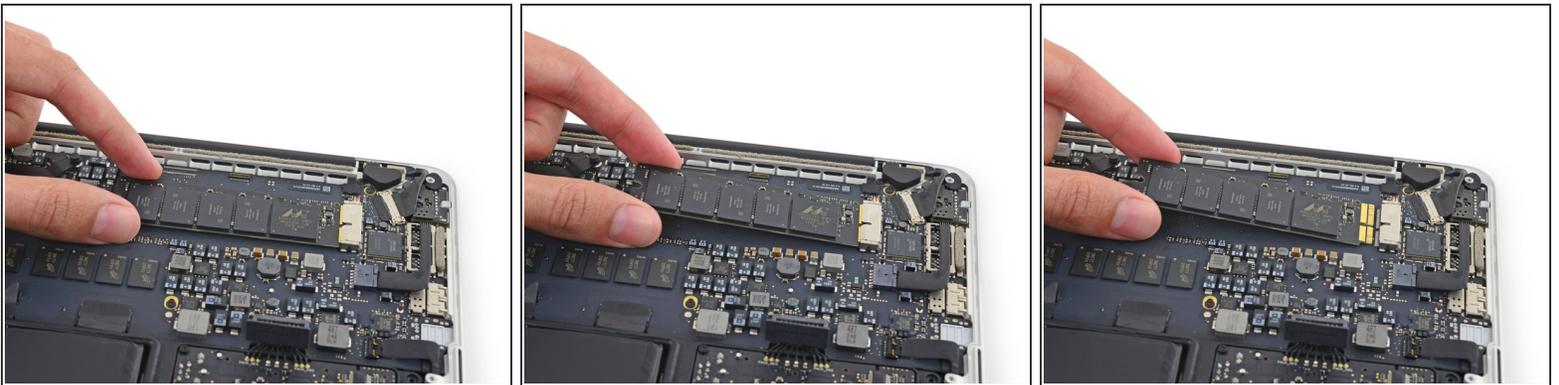
- ★ 修理作業中、アクシデントによりソケットがバッテリーコネクタに接続しないよう、折り曲げて邪魔にならない位置に移動させてください。

手順 7 — SSD



- ロジックボード上に留められたSSDから、2.9 mm T5トルクスネジを1本外します。

手順 8



- SSDの端をわずかに持ち上げて、ロジックボード上のソケットからSSDを持ち上げます。

⚠ SSDを掴んで取り出せることができる程度まで (約0.25インチ)持ち上げてください。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。